

わかばすくすく通信

2016年1・2月

監修：内山恵美子
医学博士
小児科専門医
(日本小児科学会認定)

花粉症の季節です。

最近、こどもに花粉症が増えています。

花粉症は大人の病気と考えてしまっていないでしょうか。

こどもにも花粉症がありますので、ご注意いただきたいと思っています。

鼻水の吸引治療を行っています。
どうぞお気軽にご相談ください。

花粉症は、お子さまも大人もの方も
当院にご相談ください。

- 診断を受けて、きちんと対処しましょう。
日常生活にも注意して、花粉の季節も元気に過ごしましょう。
- *大人用の薬を、量を減らしてお子さまに使ってはいけません。危険です。
- *点鼻薬など、外用薬も大人とこどもでは
使用量・使用法が違います。勝手に使用してはいけません。
- ◎大人の方も、お子さまも、当院にお気軽にご相談ください。



こどもの花粉症、
症状はおとなと同じです。

くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみ。
微熱が出ることもあります。

スギ花粉の飛散は
『2月上旬から本格化』の予想です。

日本気象協会の発表（第2報）より。

◆ウラ面をご覧ください。



…花粉症、アレルギー性鼻炎、あれこれ豆知識…

花粉症もアレルギー性鼻炎も、アレルギー反応によって起こります。

主な症状は、くしゃみ、鼻水、鼻づまり。花粉症では、目のかゆみも特徴的な症状です。違いは、原因となる“アレルゲン”が異なること。

花粉症のアレルゲン：スギ、ヒノキなどの花粉
アレルギー性鼻炎のアレルゲン：ハウスダスト、ダニ、カビ、ペット（動物の毛）など

アレルギー性鼻炎は1年中、季節に関係なく発症します。

最近では、アレルギー性鼻炎の発症が低年齢化しています。また、保育園や幼稚園で増えていると言われてい

花粉症、アレルギー性鼻炎の治療の概要

◎症状に応じてお薬を使用します。

- ・飲み薬を服用する。
- ・鼻に直接お薬を噴霧する。
- ・目のかゆみや充血がひどい時は点眼薬を使う。
- ・花粉の飛散前から予防薬を使用する。

◎大人の方も、お子さまも、当院にお気軽にご相談ください。

アレルギー反応とは？ アレルゲンとは？

*詳しくは『日本アレルギー学会 アレルギーを知らう』で検索

日本アレルギー学会 アレルギーを知らう

検索

2016年春の花粉飛散予測（日本気象庁発表 第2報）から関東地方に関係するポイントを抽出してみました。

☆スギ花粉の飛散状況は、西日本と東日本では例年より早いところが多い。

☆関東地方では、2月上旬から飛散が始まる。

☆関東地方の花粉の飛ぶ量は、例年並み。

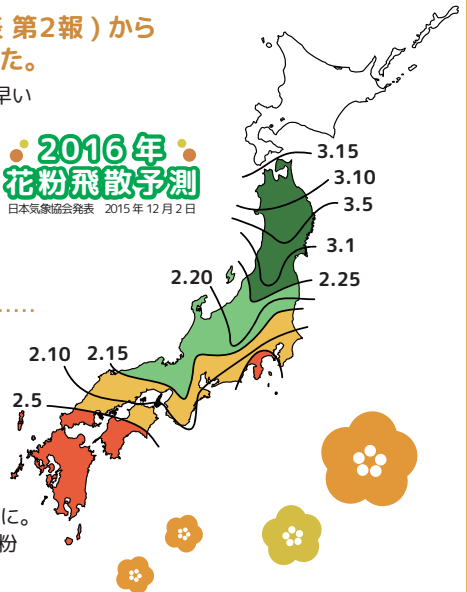
☆埼玉県の花の飛ぶ量は、昨年より多い。

*詳しくは『花粉情報—日本気象協会』で検索

花粉情報—日本気象協会

検索

2016年
花粉飛散予測
日本気象協会発表 2015年12月2日



花粉症対策

一日常生活での注意、心がけたいこと一

- ・花粉の飛散の多い日は外出をひかえましょう。（花粉飛散情報をニュースやネットでキャッチ！）
- ・外出する時は、マスク、メガネ、帽子を忘れずに。
- ・外から帰ったら、家に入る前に、花粉を払いおとす。
- ・ドア、窓は開けっ放しにしない。花粉が入り込まないように。
- ・布団を外で干すのも、感心しません。（布団についた花粉は落ちにくいと言われます）
- ・こまめに拭き掃除をしましょう。



わかばこどもクリニック

志木市本町 5-19-15 7F リアリスカ2F ☎048-423-4749